

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	無	
体育学部	教授	川島 康弘			
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)					
(1) レポート提出	平成30年～令和4年	授業内容の理解度を高めることを目的に課題を与え、数回のレポート作成させ、提出させている。			
(2) 視聴覚教材の活用	平成30年～令和4年	PCのプレゼンテーションソフトにより、視聴覚教材を作成し、授業内容の理解度を高めている。			
(3) 「学生による授業評価」の実施とそのリフレクションの提出	平成30年～令和4年	FD委員会による「学生による授業評価」を受け、リフレクションを行うとともに授業展開について検討した。			
2 作成した教科書、教材、参考書					
(1) 権第20号	平成30年3月	1996年より本学コーチング系研究グループが中心となって、運動部の指導や問題点、スポーツパフォーマンス向上に役立つ理論や方法などを纏めて作成している。コーチングコース専攻学生の副読本として使用している。			
(2) 臨海実習テキスト	平成30年6月	野外活動実習の一つである「臨海実習」の授業テキスト。			
(3) 大阪体育大学教員免許更新講習2018テキスト	平成30年12月	授業に役立つ運動の仕組み、水泳・水中運動の基本動作とその指導法について解説した。			
(4) 権第21号	令和元年3月	1996年より本学コーチング系研究グループが中心となって、運動部の指導や問題点、スポーツパフォーマンス向上に役立つ理論や方法などを纏めて作成している。コーチングコース専攻学生の副読本として使用している。			
(5) 臨海実習テキスト	令和元年6月	野外活動実習の一つである「臨海実習」の授業テキスト。			
(6) 権第22号	令和2年3月	1996年より本学コーチング系研究グループが中心となって、運動部の指導や問題点、スポーツパフォーマンス向上に役立つ理論や方法などを纏めて作成している。コーチングコース専攻学生の副読本として使用している。			
(7) 体カトレーニングの理論と実際 (第2版) 大修館書店	令和3年3月	本学の体カトレーニング論担当教員が分担執筆し、出版した著書第3, 6, 9, 10, 11章を執筆した。			
(8) 権第23号	令和3年3月	1996年より本学コーチング系研究グループが中心となって、運動部の指導や問題点、スポーツパフォーマンス向上に役立つ理論や方法などを纏めて作成している。コーチングコース専攻学生の副読本として使用している。			
(9) 臨海実習テキスト	令和3年6月	野外活動実習の一つである「臨海実習」の授業テキスト。			
(10) 権第24号	令和4年3月	1996年より本学コーチング系研究グループが中心となって、運動部の指導や問題点、スポーツパフォーマンス向上に役立つ理論や方法などを纏めて作成している。コーチングコース専攻学生の副読本として使用している。			
(11) 権第25号	令和5年3月	1996年より本学コーチング系研究グループが中心となって、運動部の指導や問題点、スポーツパフォーマンス向上に役立つ理論や方法などを纏めて作成している。コーチングコース専攻学生の副読本として使用している。			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
スポーツ教育学科コーチ教育コース長		平成27年4月～平成30年3月	コース長として、教育活動に取り組んだ。		
臨海実習主任		平成30年～令和4年	実習主任として、プログラムの立案から授業運営を行った。		
II 研究活動					
著書 (単著)					
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月
著書 (共著・分担執筆)					
題目/書名	著者/編者	初(始)頁～終頁	発行所	発行地	発行年月
体カトレーニングの理論と実践	大阪体育大学体カトレーニング教室編	17～27頁, 111～124頁, 131～140頁	大修館書店	東京	平成27年7月
題目/書名	著者/編者	初(始)頁～終頁	発行所	発行地	発行年月
体カトレーニングの理論と実践 (第2版)	大阪体育大学体カトレーニング教室編	19～29頁, 80～83頁, 113～126頁, 130～136頁, 137～146頁	大修館書店	東京	令和3年3月
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)					
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
中学生の水泳授業におけるクロールの指導法に関する研究 ―知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成を結び付ける指導の試み―	川島康弘、梅垣明美、小川帆乃香	大阪体育大学紀要	第49巻	1～18	平成30年3月
資料論文					
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
大学クラブ活動性における「一次救命処置」及び「緊急時対応計画」の学習経験に関する調査	有吉晃平、藤井均、川島康弘、中山健、曾根裕二、陳洋明	大阪体育大学紀要	第50巻	103～111	平成31年3月

大阪成蹊大学教育学部保健体育教育コースにおける学生の水泳教育に関する実態調査	外林大輔、北村優弥、秋原悠、川島康弘、	大阪成蹊教職研究	第3号	59～64	令和2年2月
----------------------------------------	---------------------	----------	-----	-------	--------

その他（「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入）						
区分	題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
科学研究費等の取得状況						
科学研究費／その他の助成金／外部資金						
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）	
特許						
特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国
Ⅲ 加入学会および社会における活動						
期 間		内 容				
加入学会						
平成3年～		日本体育学会会員				
平成10年～		日本水泳・水中運動学会会員				
平成10年～		日本バイオメカニクス学会会員				
平成30年～		日本学校保健学会会員				
令和3年10月23日～24日		日本水泳・水中運動学会 2021年次大会会長				
社会的活動						
平成30年11月～令和4年11月		大阪府高齢者大学の講師、大阪市が開催してきた講習会をNPO法人が受け継ぎ行われている本講習会の講師として、実技と講義を担当した。				
平成29年1月～令和元年1月		教員免許更新講習の講師、本学が行っている教員免許更新講習の講師として「水泳の授業づくり」を担当した。				
Ⅳ 管理活動						
期 間		内 容				
委員会活動						
平成27年4月～平成30年3月		カリキュラム委員会				
令和元年4月～令和2年3月		FD委員会教員研修実施部会長				
令和3年4月～		キャリア支援委員会				
特別プロジェクト活動						
Ⅴ クラブ活動の指導業績						
1. 指導クラブ名	水上競技部	部	2. 役職	2013～2015年女子部コーチ／2016年監督／2017年 部長／2018～2020年部長・女子監督 2021年～ 部長・女子部コーチ	3. 部員数	73 人
4. 現場指導の頻度	選択 ① まほ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない					
5. 合宿指導	年間合宿回数：	2 回	延べ日数：	10 日		
6. クラブの競技力向上への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない					
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない					
8. 部員の就職指導への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない					
9. 年間の引率公式大会名	大会名		期 間		場 所	
	日本選手権水泳競技大会		4月1週目（7日間）		東京	
	JAPAN OPEN		5月3週目（3日間）		東京	
	関西学生チャンピオンシップ水泳競技大会		5月4週目（2日間）		和歌山	
	関西学生選手権水泳競技大会		7月3週目（3日間）		大阪	
	日本学生選手権水泳競技大会		9月1週目（3日間）			
	FINAワールドカップ東京大会		11月3週目（2日間）		東京	
	その他、近畿圏での記録会等					

10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)

開催期間	大会名	成績	場所
平成30年7月27～29日	第54回関西女子学生選手権水泳競技大会	個人優勝2名、総合第4位	大阪プール
平成30年11月9～11日	FINAワールドカップ・東京大会	女子個人出場2名	東京辰巳国際水泳場
令和元年7月26～28日	第55回関西女子学生選手権水泳競技大会	800mフリーレー第2位、 総合第4位	大阪プール
令和2年9月21～22日	関西学生秋季AUTUMN CHALLENGE	女子個人第1位3名、400mFR第1位、 第2位6名、第3位3名	大阪プール
令和3年7月23～25日	第56回関西女子学生選手権水泳競技大会	個人優勝1名、総合第4位	大阪プール
令和3年5月21～23日	JP2021 JapanPara水泳競技大会	100m平泳ぎ(SB8) 優勝	横浜国際プール
令和3年8月25～9月3日	パラリンピック東京2020	100m平泳ぎ(SB8) 第6位	東京アクアティックスセンター

VI 賞罰 (職務に関する賞罰)

年 月	受賞等機関名	内 容	備 考